

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 8月 22日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	アデレード大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input checked="" type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:総合商社) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			

派遣先大学の概要

オーストラリア、南オーストラリア州にある公立大学でオーストラリアで3番目に古い大学。オーストラリア版アイビーリーグ、Group of Eightの一員。

留学した動機

システム創生学科に進学後の学部3年生の時、工学系研究科准教授の森村先生が行っているM-Skype(Skypeを通じて米マサチューセッツ工科大学(MIT)の学生と言語交換を行う授業)を履修した。その後MITの学生と交流を続け、MIT訪問や、東京でのMIT生と東大生によるサマープログラムMUSCATのスタッフを務めた。これらの活動を通じ、日本人以外の国籍の人と接することの面白さにのめり込んでいった。一方でこれまで交流してきたMITの学生は日本に興味のある学生であり、今度は日本というバックグラウンドなしで自分がどれだけ世界で通用するかを試したいと思うようになり、留学を決意した。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部4	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015年	7月～		2016年	7月
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2016年	学部4	年生の	6月頃に	行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		76	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0 単位		
	留学後の取得(予定)単位		10 単位		
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2012年	4月入学		2017年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

ずっと興味があったが、留年を決心したのがこの時期だった。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

特になし。			
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)			
自分で説明を読んで準備すること。			
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)			
なし。			
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)			
指定のものに加入した。			
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)			
特になし。			
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)			
TOEFLの勉強。			
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど			
日本食。			
学習・研究について			
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。			
授業科目名	単位認定 の申請	授業科目名	単位認定 の申請
Engineering Mathematics		Introduction to Programming for Engineering	
International Financial Institution & Markets		Principles of Macroeconomics	
Managing across Cultures			
Object Oriented Programming			
Engineering Modelling & Analysis			
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)			

<p>ディスカッションメインの授業は苦勞した。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>語学面では苦勞したがとにかく人と接して話す事が大切。</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p>
<p>寮</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>快適。現地で口座を開設した。</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p>
<p>治安は良かった。</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>・留学に要した費用総額とその内訳</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p>

<p>月7万円を大学からもらった。</p>
<p>⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)</p>
<p>スポーツをしたイベントに参加したり旅行に行った。</p>
<p>派遣先大学の環境について</p>
<p>①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)</p>
<p></p>
<p>②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)</p>
<p>食堂はなかったが店があった。</p>
<p>留学と就職活動について</p>
<p>①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど</p>
<p>就活時期の変更により一時帰国しなければならなかった。</p>
<p>②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響</p>
<p>よりグローバルな企業で働きたいと思うようになった。</p>
<p>③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)</p>
<p>なし。</p>
<p>④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください</p>
<p>()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) (<input checked="" type="checkbox"/>)5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()</p>
<p>留学を振り返って</p>
<p>①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感</p>

留学を通じて得たものを一言で言えば、友人である。大学中心の生活で自由時間も比較的多かったため、友人と一緒に過ごす時間が大半をしめていた。その友人たちから得たものは2つある。1つは、世界中どんな人とも自分らしく生きていけるという自信である。現地にはオーストラリア人はもちろん、アメリカ人、イギリス人、ノルウェー人、中国人など世界各国から学生が集まっており、それぞれが異なるバックグラウンドを持っていた。そんな彼らに対しても日々のコミュニケーションを重ね、一緒に生活するうちに自分らしさをどんどん出せるようになっていく自分を感じる事ができた。これは英語という言語だけの問題ではなかった。2つめはこれまで興味なかった新しい分野のことに興味を持ち、学べたことである。例えば、現地では圧倒的にキリスト教徒が多かったが、彼らと話をしたり、教会へ行ってみることで自分の知らなかった世界を垣間見ることができた。また、アメリカ大統領選やイギリスのEU離脱問題など実際に世界で起こっている出来事をその当事国出身の友人たちを交えながら議論できたことはとても良い経験になった。

留学当初なかなか友人達の輪に入れず苦勞し、他の人が体験記に書いているような楽しい留學生活を自分も送れるのか不安になったこともあったが、振り返ってみると、とても良い経験になったと思う。

②留学後の予定

卒業研究後、就職

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

迷っているなら行ってみたほうがいいと思います。

その他

①準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留學中の写真があれば添付してください。

